

■石原和三郎 童謡作詞家。「金太郎」「花咲爺」「兎と亀」「大黒様」など傑作多数。

いしはらわさぶろう

薩摩藩士密航1865＝ 群馬県勢多郡東村花輪で、石原伝六・母さだの次男に生まれる。長男辰太郎の異母弟。

明治維新・・・1868＝ 3歳：

明治6年政変 1873＝ 8歳：祥禅寺に開校された小学校に入学、
佐賀の乱・・・1874＝ 9歳：

西南戦争・・・1877＝12歳：卒業し、黒保根村塩沢分校の助手教員となる。

明治14年政変1881＝16歳：

岩倉具視没・1883＝18歳：

内閣発足・・・1885＝20歳：この頃、郷里の花輪小学校に勤務。
帝国大学始・・・1886＝21歳：南勢多第十一北尋常小学校の主座教員となるが、
国民之友始・・・1887＝22歳：退職して、群馬県尋常師範学校に入学。

帝国憲法発布1889＝24歳：

大津事件・・・1891＝26歳：卒業し、郷里の花輪尋常高等小学校校長兼訓導となる。
大本教・・・1892＝27歳：
郡司千島探検1893＝28歳：父が死去。
日清戦争始・・・1894＝29歳：同村小夜戸の東宮てると結婚。*「小学校歌集註解」を出版するなど、唱歌に関心が強く、

白馬会・・・1896＝31歳：長男義雄が誕生。東京高等師範学校付属小学校訓導となる。

子規句歌革新1898＝33歳：_文部省検定試験国語科に合格し、
Bushidou・・・1899＝34歳：*東京高等師範学校音楽助教授になる。田村虎蔵と肝胆相照らし、言文一致唱歌を創り始めるとともに、
ピアノ国産化・・・1900＝35歳：_坪内逍遙のもとで「小学国語読本」編纂に携わるべく、{富山房}に入社。同社から「地理唱歌」「上野唱歌」「茨城唱歌」「土佐唱歌」等を出し、この年から出版開始される「幼年唱歌」(全10冊)の{初編上巻}に「金太郎」、
田中正造直訴1901＝36歳：*{初の下}に「花咲爺」、{二の上}に「兎と亀」が載り、{二の下}に載った「牛若丸」は、その後登場したもの
にとって代わられているが、次々と傑作を発表。

教科書疑獄・・・1902＝37歳：富山房発行の{少年世界文学}に童話「六勇士」を書くなど著書も多い。
日比谷公園・・・1903＝38歳：翌年にかけて、田村虎蔵と軒をならべ、牛込五軒町に住む。_「少年唱歌」出版。
日露戦争始・・・1904＝39歳：月刊誌{日露戦報}を編集、後に「軍国画報」と改め、
日露戦争終・・・1905＝40歳：東郷平八郎からの揮毫も受け、戦後、{帝国画報}となる。_長編もの「東京地理教育電車唱歌」出版して、好評を博し、{尋常小学唱歌 第二学年 中}に「大黒様」が載る。
伊藤博文暗殺1909＝44歳：この頃、_文部省の歌詞募集に応じ、「国旗の歌」最優秀作として、賞金八十円を得ている。

韓国併合・・・1910＝45歳：

大逆事件判決1911＝46歳：この年、*現在まで歌い継がれる「牛若丸」が、尋常小学唱歌1年生用に、作詞・作曲不詳で載せられた。「東京銅像唱歌」「朝鮮唱歌」出版。

明治天皇没・・・1912＝47歳：

ベルサイユ条約・・・1919＝54歳：

原敬首相暗殺1921＝56歳：師範時代の同級生根岸福弥の茨城師範学校長栄転祝賀会に際して、_料亭の階段より落ち、病臥、
水平社結成・・・1922＝57歳：_没した。
翠江、また万岳と号する。